ウィークエンドきもの
weekend kimono

草履でさんぽ

vol.203

美味しい食事、楽しい仲間との語らい、そして大好きなきもの。
これだけ揃っただけでも大満足なのに、広大な庭園で草木や花やせせらぎに
心洗われる時間を過ごしたら、また一週間頑張れそうな気がします。
お出かけには最適な季節。気のおけない仲間ときものでお出かけしてみませんか？

都会のオアシスを満喫する春

「和創美」は、弊誌連載でもおなじみの林良江さんが主宰する、日本文化ときものとおしゃれを愛する人のグループで、月に一度、きものを着てあちらこちらの名所名刹を訪ねたり、祭りやイベントにもこぞって参加するという、きものファンにはたまらない活動的なグループです。「どなたにでも気軽にご参加いただいて、きもの友達を増やして、もっときものを楽しんでいただきたい」とは林さんからのメッセージ。さて、桜のつぼみが膨らむと一行はそわそわドキドキ。着て行くきものをどうしようかと、あれこれ楽しく迷う日々が過ぎて、ついにみんなが楽しみにしていたお花見です。昨年の4月は『ホテル椿山荘東京』へとお出かけ。ちょっとリッチな食事を楽しみ、きもの談義も満開の頃、庭に出て散策を楽しみました。ここは東京都文京区。大都会の真中にありながら2万坪の美しい庭が私たちの心を癒（いや）してくれます。四季折々の花が咲き、歴史散策までできるというから驚きです。『恵比寿様のさんぽ道』では七福神を訪ね歩くパワースポット巡りでパワーアップ。滝があり庭園があり小高い丘があり、鳥のさえずりさえ聞こえてくるという都会のオアシスで、楽しい時間はあっという間に過ぎていくのでした。

桜も顔負けのあでやかなご一行。

今月のさんぽ友だち

「和創美」ご一行

※和創美のイベント詳細は
23ページをご覧ください。

今月のおさんぽコース

東京都　ホテル椿山荘東京

取材協力：ホテル椿山荘東京

右／湯浅千花恵さんは刺しゅうが美しい小紋で春らしい優しい雰囲気のコーディネイト。

左／妖艶な夜桜を思わせるおぼろ染めの訪問着で豪華にキメて。

一戸都さんは唐草紋の色無地。さりげなく次の季節の花を取り入れているところが粋です。

中右／色数を抑えたエレガントなコーディネイトで。

中左／エキゾチックな更紗調の小紋をクールにまとめて。

右／誰もが憧れる白大島をすっきり着こなしている湯野川恵美さん。

左／須藤紀子さんはご自分で作ったワンタッチきものやショールが個性的。